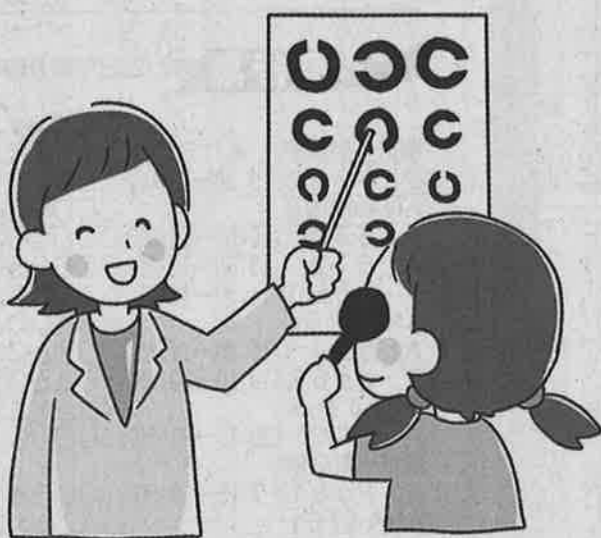


# 強度の近視、甘く見ないで

強度近視は眼球にかなりの負荷がかかった状態で、物を見るのに重要な視神経や網膜の中心部の黄斑部の障害が起こりやすい。ひとたび障害が起こると、眼鏡などで矯正しても改善されない、いわゆる「病的近視」に至る。

「どれだけ手元に近づけてもはつきり見えない、見ようとする所が見えない、物がゆがむ、視野が欠けるといった症状が表れ、網膜剝離などの合併病変が起こりやすくなります。失明のリスクもあり、

視力検査で強度近視を指摘されたら、眼底検査を



■東京医科歯科大学医学部付属病院  
〒113-8519 東京都文京区湯島1の5  
の45。電話03(3813)6111(代表)。

成人の眼球は通常、直径約24mmの球形だが、近視では眼球が変形し、眼軸長という眼球の前後方向の長さが25〜26mm程度に伸びる。近視が進み強度近視になると、眼軸長は27mm以上となり、屈折度を表す「ディオプリー(D)」はマイナス8D(12.5センチメートル)に近づけるとはつきり見えない程度)を超える。

「強度近視」という言葉を存じだろうか。放置していると失明の危険もある病気が、一般的な近視とどう違うのか。強度近視の専門外来を設ける東京医科歯科大学医学部付属病院(東京都文京区)眼科の大野京子教授に聞いた。

「深刻です」と大野教授。強度近視では眼球がもろくなっているため、ちょっとした外圧で出血することがあり、日常生活では目をこすったり、押したり、ぎゅっと閉じるなど、眼球に圧力をかけないよう注意したい。

近視を助長するスマートフォンやゲーム機なども、できれば避けた方が無難だという。

1カ月に1回は、自分で見え方をチェックするといふ。カレンダーやマス目など、毎回決まった物を見て確認する。その際、片目ずつ行うの

## 外圧で出血、スマホも注意

強度近視の子どものには、将来の失明リスク回避のため眼底検査が勧められる。大野教授は「子どもの場合、小学校低学年であれば屈折度がマイナス4D超、高学年ならマイナス6D超が強度近視の目安です」と話し、検査でリスクが高いと判断された場合は、改めて専門の医療機関への受診を促す。

「たかが近視と思いがちですが、病的近視にまで進めば失明に至ることもあります。眼底検査を含め、病的な兆候がないか確認することが大事です」と大野教授は強調している。

強度近視を含め、近視に関する情報は日本近視学会のホームページ(<http://www.myopia-society.jp/>)が参考になる。

## 病的レベルは失明の危険

「強度近視」という言葉を存じだろうか。放置していると失明の危険もある病気が、一般的な近視とどう違うのか。強度近視の専門外来を設ける東京医科歯科大学医学部付属病院(東京都文京区)眼科の大野京子教授に聞いた。

## 紛らわしい汗による湿疹

### 水虫温故知新

皮膚がかゆくなる症状は、必ずしも白癬(はくせん)菌によるものとは限りません。原因を正しく確認していなければ、どんな治療をしても効果は限られてしまうので、まずは確定診断が大切になります。そのためには、似た症状を引き起こす他の病気についても知っておきましょう。

一番紛らわしいのは汗による湿疹です。同じような環境で発生し、かゆみが出てくる部分の外見もほぼ同じ。治療法は異なり、炎症を抑えるステロイドやハンドクリームを使います。しかしこのステロイド、免疫反応を抑える

### かゆみ原因、検査で確定

効果もあるので、皮膚に白癬菌が寄生していればその活動を活性化させ、症状を悪化させてしまいます。

このようなトラブルを避けるには、足の皮膚片を顕微鏡でよく検査して、白癬菌の有無を確認しておくことが大切です。実は一度の顕微鏡検査だけで



水虫が別の病気が確かめるのが大切

白癬菌を発見できるとは限らず、皮膚科医でも水虫を皮膚炎と判断してしまうことがあります。ですから、治療を受けて数日たっても症状が好転しない場合は、再度診察を受け、症状の変化を医師に伝えてください。

もう一つ疑いたいのが、細菌による皮膚感染症です。足の指の間が赤くなり、水虫のように見えます。治療には抗真菌薬のクリームを患部と周辺に塗ることになります。

よく小さな子どもの手足の皮膚がむけて、水虫を心配する親が子どもを連れて来院しますが、汗などで蒸れて皮がむけているだけで、心配ないケースがほとんどです。しかしまれに水虫であることもあるので、心配ならやはり皮膚科で検査を受けてください。(哲学堂くすのき皮膚科院長・菊地伊豆実、イラスト・原沢美紀)

## 患者の半数以上診 認知症、早

日本認知症予防学会(北九州市)は、製薬企業の日本イーライリリー(神戸市)と共同で認知症に関するセミナーを開催した。

講演を行った鳥取大学医学部の浦上克哉教授(同学会理事)は、臨床医の立場から認知症の現状や課題について説明。2012年時点で全国に462万人いると推計されている認知症患者のうち、半数以上が診断を受けていない実態に対して、「早期に診断し、治療につなげることが重要だ」と語った。

また、鳥取県内で実施している早期発見への取り組みを紹介し、「認知症の

## 精神障害と暮らし 来月1日公開講座

道立緑ヶ丘病院

【音更】道立緑ヶ丘病院(音更町)は、緑ヶ丘1、東端憲仁院長が、10月1日午前10時から、同院で「こころの病気地域公衆講座」を開催。今回のテーマは「精神障害を持つ家族の暮らしの工夫」。参加無料。7月から始まった全6回

## ブラック・ジャックセミナー参加募集

中学生を対象とした外科手術体験講座「ブラック・ジャックセミナー」が、11月19日午後1時から帯広厚生病院(帯広市西6南8)

人体マネキンなどを使用し、超音波メスによる模擬手術や内視鏡手術のシミュレーター操作、手術縫合を体験できる。午後5時までの予定。

署名記事